

第3章 市民の意向

第3章 市民の意向

本計画の改定に際し、同時期に見直しに着手した『安曇野市都市計画マスタープラン』と『安曇野市土地利用基本計画』に関する内容も含めて実施したアンケート（安曇野市の将来のまちづくりに関するアンケート）※の結果から、道路整備に関する市民の意向を把握した。

※調査概要

- ・実施期間：令和2（2020）年1月16日（木）～令和2（2020）年2月2日（日）
- ・調査方法：郵送、インターネット（送付状にURL、QRコードを掲載）
- ・調査対象：18歳以上の市民から地域や年代を考慮して無作為に抽出した2,500名
- ・回答数：1,234名（郵送：1,144名、インターネット：90名）
- ・回収率：49.4%

（1）日頃の暮らしで満足されていること

日頃の暮らしで満足されていることでは、「道路網が整備されている」や「道路交通の安全性が高い」の回答率は比較的低く、平成26（2014）年に実施した前回アンケートからも有意な比率上昇がみられない。

問13	日頃の暮らしで満足されていることは何ですか。 ※複数回答	2014(平成26)年度(5年前)		H26→R01 (%)	2019(令和元)年度(今回)	
		回答数	回答率(%) ※R01同順		回答数	回答率(%) ※回答率順
2	きれいな景色が見られる	854	76.0	▲ 0.8 ↓	921	75.2
1	水がおいしい・空気がきれい	815	72.5	▲ 1.4 ↓	871	71.1
3	身近な生活環境に緑が多い	—	—	—	673	54.9
10	下水道整備が行き届いている	398	35.4	8.1 ↑	533	43.5
5	日用品の買い物が便利	410	36.5	5.6 ↑	516	42.1
6	閑静な住宅地として維持できている	360	32.0	5.9 ↑	465	38.0
4	自宅近くで農作物がとれる	459	40.8	▲ 3.7 ↓	455	37.1
13	防犯面で危険を感じる場所が少ない	166	14.8	11.0 ↑	316	25.8
11	公園などの憩いの場が近くにある	188	16.7	5.2 ↑	268	21.9
8	道路網が整備されている	154	13.7	2.1 ↑	194	15.8
12	身近にスポーツやレクリエーションを楽しめる場がある	—	—	—	170	13.9
7	道路交通の安全性が高い	83	7.4	4.1 ↑	141	11.5
9	公共交通(鉄道やバスなど)の便がよい	133	11.8	▲ 2.9 ↓	109	8.9
15	地価や家賃、固定資産税が安い ※H26では地価の記載なし	36	3.2	2.8 ↑	74	6.0
14	防災対策が十分	44	3.9	1.3 ↑	64	5.2
18	特に満足できることはない	31	2.8	2.0 ↑	58	4.7
16	公共施設のバリアフリー化が進んでいる	—	—	—	54	4.4
17	その他	28	2.5	▲ 0.9 ↓	20	1.6
	合計	1,124	(無回答19件を除く)		1,225	(無効・無回答9件を除く)

—：平成26年度アンケートでは調査していなかった項目

（2）日頃の暮らしで不満に思うこと

日頃の暮らしで不満に思うことでは、「通行に危険を感じる道路」や「道路網の整備が不十分」の回答率がそれぞれ2番目、3番目の高さで、前回アンケートからの有意な比率上昇はみられないものの、相対的には道路整備に対する充足感が依然として低い。また、4番目に比率の高い「日用品の買い物が不便」も、前回アンケートよりはやや有意な比率低下がみられるものの、道路を含む交通に起因する不満と捉えることができる。

問14	日頃の暮らしで不満に思うことは何ですか。 ※複数回答	2014(平成26)年度(5年前)		H26→R01 (%)	2019(令和元)年度(今回)	
		回答数	回答率(%) ※R01同順		回答数	回答率(%) ※回答率順
9	公共交通(鉄道やバスなど)の便が悪い	506	45.0	5.5 ↑	618	50.5
7	通行に危険を感じる道路が多い	377	33.5	▲ 0.1 ↓	409	33.4
8	道路網の整備が不十分	228	20.3	3.3 ↑	288	23.5
5	日用品の買い物が不便	267	23.8	▲ 5.6 ↓	222	18.2
18	特に不満に思うことはない	127	11.3	6.4 ↑	216	17.7
12	身近にスポーツやレクリエーションを楽しめる場がない	—	—	—	208	17.0
15	地価や家賃、固定資産税が高い ※H26では地価の記載なし	201	17.9	▲ 3.2 ↓	179	14.6
14	防災対策が不十分	106	9.4	3.1 ↑	153	12.5
11	公園などの憩いの場が近くにない	189	16.8	▲ 5.0 ↓	144	11.8
13	防犯面で危険を感じる場所が多い	157	14.0	▲ 4.3 ↓	118	9.6
4	農地からの臭気が気になる	157	14.0	▲ 5.3 ↓	106	8.7
16	公共施設のバリアフリー化が不十分	—	—	—	93	7.6
2	地域の景観と調和しない建物等がある	68	6.0	0.8 ↑	84	6.9
17	その他	158	14.1	▲ 8.8 ↓	64	5.2
6	住宅地にふさわしくない建物等があって不快	58	5.2	▲ 0.9 ↓	52	4.3
10	下水道整備が行き届いていない	41	3.6	▲ 1.4 ↓	28	2.3
1	工場などの騒音等が気になる	24	2.1	▲ 0.2 ↓	24	2.0
3	身近な生活環境に緑が少ない	—	—	—	20	1.6
	合計	1,105	(無回答38件を除く)		1,223	(無効・無回答11件を除く)

—：平成26年度アンケートでは調査していなかった項目

(3) 道路整備に対する満足度と重要度

① 満足度

道路整備について、種類別に現在の整備状況に対する満足度をうかがうと、A、Bの幹線道路は比較的満足度が高く、いずれも6割以上の方が「満足」又は「まあ満足」と回答している。他方、自転車道や歩道については、「満足」、「まあ満足」の合計比率がいずれも3割台と、幹線道路や生活道路に比べて満足度が低くなっている。

問17 満足	安曇野市内の道路整備について、現状の満足度を伺います。												
	※択一回答	A 安曇野市外に通じる主要な幹線道路			B 市内を行き来する主要な幹線道路			C 主要な幹線道路にアクセスする生活道路					
4	満足	137		11.9	67.2	125		11.0	65.8	92		8.2	62.1
3	まあ満足	634		55.2		623		54.8		606		53.9	
2	やや不満	278		24.2	32.8	294		25.9	34.2	320		28.5	37.9
1	不満	99		8.6		94		8.3		106		9.4	
	合計	1,148 (無効・無回答86件を除く)				1,136 (無効・無回答98件を除く)				1,124 (無効・無回答110件を除く)			

問17 満足	安曇野市内の道路整備について、現状の満足度を伺います。								
	※択一回答	D 自転車の専用レーン又は専用道路		E 歩道					
4	満足	65		5.9	34.6	76		6.7	36.8
3	まあ満足	313		28.6		338		30.0	
2	やや不満	407		37.2	65.4	395		35.1	63.2
1	不満	309		28.2		317		28.2	
	合計	1,094 (無効・無回答140件を除く)			1,126 (無効・無回答108件を除く)				

② 重要度

同じく重要度については、A、Bの幹線道路はいずれも8割以上となっており、上記のとおり一定の満足度は得られてはいるものの、依然として整備の重要性は高い。重要度は幹線道路以外も同様に高く、とくに歩道は最も比率が高く、かつ、満足度も低いいため、整備の重要性がとくに高いものとして認識されている。

問17 重要	安曇野市内の道路整備について、今後の重要度を伺います。												
	※択一回答	A 安曇野市外に通じる主要な幹線道路			B 市内を行き来する主要な幹線道路			C 主要な幹線道路にアクセスする生活道路					
4	重要	483		46.1	81.4	443		42.8	81.7	396		38.3	82.0
3	やや重要	369		35.2		403		38.9		452		43.7	
2	あまり重要ではない	123		11.7	18.6	134		12.9	18.3	126		12.2	18.0
1	重要でない	72		6.9		55		5.3		60		5.8	
	合計	1,047 (無効・無回答187件を除く)				1,035 (無効・無回答199件を除く)				1,034 (無効・無回答200件を除く)			

問17 重要	安曇野市内の道路整備について、今後の重要度を伺います。								
	※択一回答	D 自転車の専用レーン又は専用道路		E 歩道					
4	重要	360		34.1	72.4	554		52.1	82.9
3	やや重要	404		38.3		327		30.8	
2	あまり重要ではない	203		19.2	27.6	100		9.4	17.1
1	重要でない	88		8.3		82		7.7	
	合計	1,055 (無回答179件を除く)			1,063 (無効・無回答171件を除く)				

(4) 普通自動車の運転免許の保有状況と運転頻度

9割近くが、「運転免許を保有し、かつ、日常的に運転している」と回答しており、日常の移動手段として、自家用車への依存度が高いことがわかる。

ただ、現状ではわずかな回答率となっているが、今後の高齢化の進行とともに「運転免許を保有していたが、既に返納した」という方の比率が高まってその方々の移動手段が公共交通機関にシフトしたり、生産年齢人口を含む人口そのものが減少していくことによって、自家用車による移動（交通量）が多少でも減少していくことは考えられる。

問12	普通自動車の運転免許の保有状況と運転頻度 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		1	運転免許を保有し、かつ、日常的に運転している
4	運転免許を保有していない	56	4.6
3	運転免許を保有していたが、既に返納した	44	3.6
2	運転免許を保有しているが、ほとんど運転しない又は全く運転していない	37	3.0
合計		1,228	(無回答6件を除く)

(5) 通勤・通学における交通手段のあり方

現在、通勤・通学されている方のうち、約1割が徒歩又は自転車で、公共交通の利用は1割未満となっているが、現在、車通勤であっても、安全に通行できる自転車道等の整備や、最寄駅に無料の駐車場が整備されれば、自転車や電車利用へのシフトもあり得るという方は6割程度おり、こうした整備が進むと、自動車交通量の減少につながる可能性がある。

問31	通勤・通学における交通手段のあり方について伺います。該当される方のみお答えください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		4	いまは車通勤だが、安全に通行できる自転車道やレーンが整備されれば、自転車利用もあり得る
3	いまは車通勤だが、最寄りの駅等に無料の駐車場があれば、電車利用もあり得る	175	29.1
5	その他	126	21.0
1	既に徒歩または自転車で通勤・通学している	71	11.8
2	既に公共交通を利用して(一部又は全区間)通勤・通学している	41	6.8
合計		601	(無回答633件を除く)

(6) 観光に必要な基盤整備として重要な項目

「散策路やサイクリングロードの整備やネットワーク機能の充実を図る」が3割強で最も比率が高いが、「主要な観光施設にアクセスする道路の整備・充実を図る」も3割弱と同程度で比率が高く、観光の観点からの道路整備の検討も重要といえる。

問30	安曇野市の観光に必要な基盤整備として、何がより重要になるとお考えですか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順
		4	散策路やサイクリングロードの整備やネットワーク機能の充実を図る
3	主要な観光施設にアクセスする道路の整備・充実を図る	326	29.3
1	訪日外国人旅行者(インバウンド)にも対応した標識や案内板の整備・充実を図る	214	19.2
2	民泊施設なども含め宿泊機能の充実を図る	150	13.5
5	その他	70	6.3
合計		1,113	(無回答121件を除く)

